

平成 21 年度第 1 回長野市環境審議会における指摘事項と修正方針

指 摘 事 項	修 正 方 針
1 . P110 行目「動植物の生態系」を「生態系」へ（井出委員）	指摘どおり修正。
2 . P16 「森林吸収の増大」で、説明文の始めを「計画的な森林整備などによる、二酸化炭素吸収源対策などを進めることで……」と修正 （井出委員）	指摘どおり修正
3 . P23 方針 19 を「森林間伐の計画的推進」「森林間伐などの計画的推進」へ （井出委員）	指摘どおり修正。
4 . P23 方針 19 の説明を「森林による二酸化炭素の吸収量を増大させ、森林生態系全体の炭素貯留量を増大させるため、間伐などの森林管理が適切に行われた森林経営を計画的に推進するとともに、林産物利用拡大を図ります。」に修正 （井出委員）	指摘どおり修正
5 . P37 プロジェクトコード R13 に「林産物利用の量的拡大と長期化により、炭素固定量の増大を図ります。」を追加 （井出委員）	P37 プロジェクトコード R13 に施策 19 - 3 として「林産物の利用拡大の促進」を追加 施策内容に以下を追加 エネルギー分野以外での林産材利用の拡大 建築材などへの林産物利用の量的拡大と長期化により、炭素固定量の増大を図ります。 事業主体：市民、事業者、行政 計画期間：短期・中期・長期
6 . 「緑化木剪定枝のウッドチップ化の促進と一部の燃料化利用の開発促進」を施策とする。 （井出委員）	P30 プロジェクトコード R4 に「緑化木剪定枝を燃料として利用する技術の開発促進」を追加 P37 プロジェクトコード R13 (施策 19 - 3) に「緑化木剪定枝のウッドチップとしての利用促進」を追加

平成 21 年度第 1 回長野市環境審議会における指摘事項と修正方針

指 摘 事 項	修 正 方 針
<p>7 .長期削減目標が - 6 0 %となっているが、国の計画では、6 0 % ~ 8 0 %となっている。なぜ一番少ない数字を目標にしたか説明が必要。先進国並みに削減する姿勢を示す必要がある。 バックキャストの文言は削除が適切か。 目標値がどういう数字か市民に分かりやすく説明が必要。 (茅野委員)</p>	<p>P1 13 行目 ~ 14 行目 22 ~ 24 行目追加 (_____ 部分) P13 6 行目 ~ 9 行目追加 (_____ 部分) P13 10 行目 ~ 12 行目追加 (_____ 部分)</p>
<p>8 . 技術に過大な期待をせず目標を設定している。現状では精一杯の努力で 6 0 %削減が妥当。計画見直しの段階で更に高い目標とすることを記述。 (中村会長)</p>	
<p>9 . P1 に取り組みの精神的な部分を記述。 具体的にどうするかは P13 に記載。今のところはこの内容だが、技術革新も踏まえて施策を強化することを記載。 計画の見直しは P45 でなく P13 に記載。 (山口委員)</p>	
<p>10 . 方針 18 「エネルギーの面的利用促進」にモデル地区設定を追加 (井出委員)</p>	<p>P42 プロジェクトコード K7 (施策 18 - 1) に「 エネルギー面的利用の「モデル地域」の設定」を追加</p>
<p>11 . 第 6 章の望ましい姿の実現イメージは、第 3 章か第 4 章の後に掲載。 (茅野委員)</p>	<p>第 4 章後に掲載 (前回資料 P51 ~ P52 に掲載していた内容を、P43 に移動)</p>

平成 21 年度第 1 回長野市環境審議会における指摘事項と修正方針

指 摘 事 項	修 正 方 針
<p>12. P53 資料編の人口推計資料の位置づけがわかりづらい。 (樋口委員)</p>	<p>P53 に以下を追加 【人口推計資料】 本計画に掲げるリーディングプロジェクトの削減期待量を推計するにあたっては、以下のような、人口、世帯数の推計データを根拠としています。これは、「長野市第四次総合計画」の中で、将来推計値として示しています。</p>
<p>13. 全体に渡り難しい語句の注釈は、最初に語句が出ているページに掲載するよう再確認を。 (中澤委員)</p>	<p>「低炭素社会」の注釈を P1 に移動（前回資料 P11 に掲載していた内容を移動） P14 「望ましい姿 1」の説明文 5 行目「エコロジー」から 4 行目の「エコロジー」に注釈対象を変更 「自然エネルギー」の注釈を P15 に移動（前回資料 P17 に掲載していた内容を移動） 「CASBEE」の注釈を P27 に移動（前回資料 P46 に掲載していた内容を移動）</p>